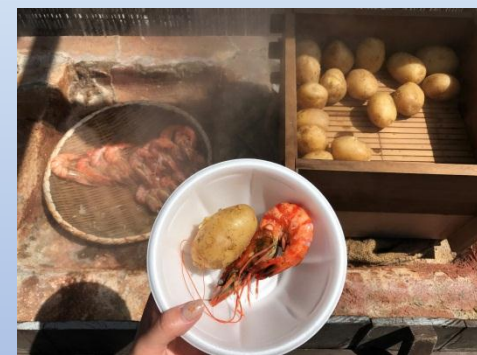
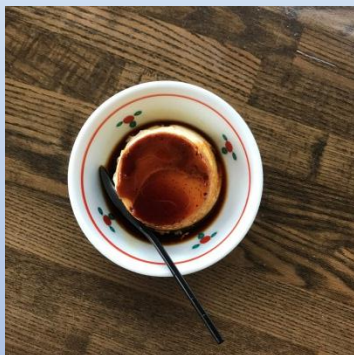


# Onsen Gastronomy





# フィードバック

朝はあいにくの雨で、参加者のうち屋根のある所に入れない人もいました。

傘を持っていない人は、近くにコンビニもなく大変だと思いました。

(雨天時、雨具を忘れる人のため、レインコート等を販売する準備があつていいかかもしれないと思いました。)

スタートは「明礬湯の里」。「湯の花」の説明はとても興味深かったです。

(説明の際、人数が多く、後ろにいる人にはあまり聞こえなかったと思います。)

食べものは温泉卵ととり天。

朝ごはんを食べずに参加した方もいましたし、

雨が降っていて少し肌寒い中待っていたので、みんなお腹が空いていて、

この名物を喜んで食べていました！

文化的な側面:湯の花が取れる小屋で名物を食べるというのはとてもよかったです。

ただ、お土産屋があつて、遠くから来る人にとっては、

時間をかけて見たかったと思いますが、時間が足りなく残念だと感じました。



ここから、何キロか最初のウォーキング、何ヶ所かのガストロポイントで食事をとりました。

ウォーキングは長すぎず、程良い距離でした。

雨も上がり、コースの景色も良く、写真を撮たくさん撮りたくなりました。

次のガストロポイントは卵サンドと生のシラスで、飲み物は種類豊富なお酒とソフトドリンクでした。

バラエティがあるので、好みに合わせた飲み物を選ぶ事に皆さん喜んでいました。





次の「海地獄」は最も観光地らしい場所でした。

全体的に、観光地とローカルなところのバランスが良かったと思いました。

1～2ヶ所の有名な観光スポットと、他は地域の街並みを歩くというコース構成がとても良かったです。

海地獄は美しく、遠くから来た人にとっては、珍しいところを楽しみたいので、最適だったと思います。

思わずシェアしたくなるいい写真も撮れました。

地獄蒸し焼きプリン、温泉地獄、水蓮などがある温室や、庭園での散歩、お土産屋さんと足湯。

このようにたくさんの楽しいスポットがありましたが、時間が余り取れないのが残念でした。

引き続き、綺麗なところを歩いて、美味しい物を食べ、別府の街並みにある路地と可愛いカフェ(次の日にプライベートでまた行った)にも行きましたが、やはり、余り時間がなく、ガストロスポットでの食事は急いで食べなくてはなりませんでした。

それでも時間が足りず、私も含めて、ゴールまでいけなかった人もいました。

そのため、参加者が温泉に入ったかどうかわかりませんでした。

(スタッフからお勧めの温泉地を紹介したり、入浴券のようなものを参加者に渡していたりしていたのでしょうか?)

